

V2H-充放電器 SDシリーズ 停電時操作方法TOYOTA [12V電源ケーブル]

当資料は、自動で自立運転が開始しなかった場合、手動で自立運転を開始するための操作方法を説明しています。

以下3条件のいずれかが該当する場合、自動で自立運転が開始されません。

- ・「自立運転切替設定」が無効
- ・ 停電した時点で充放電コネクタがコネクタロックされていない
- ・ V2H-充放電器の電源が入ってから、30分以上継続して接続されていない

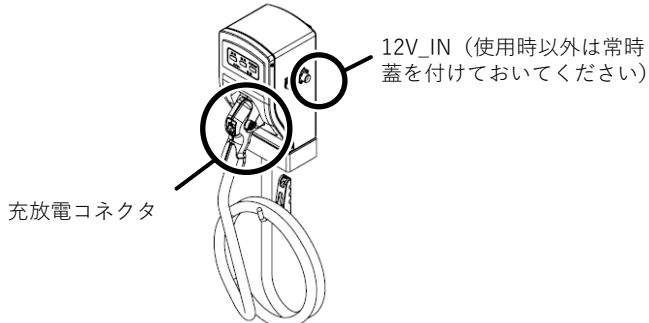
※車両側の詳細操作および注意事項につきましては、車両の取扱説明書を参照願います。末尾の車種別注意事項もお読みください。

1. 給電開始の手順

CHECK

- ・ 「シフトポジション」が「P」になっていること
- ・ 「パワースイッチ」が「OFF」になっていること
- ・ 「パーキングブレーキ」が確実にかかっていること

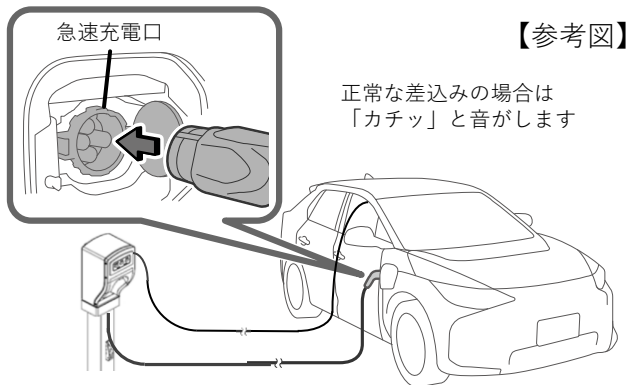
- 1 「プラグホルダ」右側面の「12V_IN」の蓋を左に回して外し、「12V電源ケーブル」を接続する。



充放電コネクタ

※停電発生時にプラグホルダのLEDが赤く光りますが、停電検知の表示であり、数秒で消えます。また、アプリ、リモコンの「運転履歴」にエラーコード51、52などが残りますが問題ありません。

- 2 車両の「急速充電口」に、「充放電コネクタ」を奥までしっかりと挿し込む。

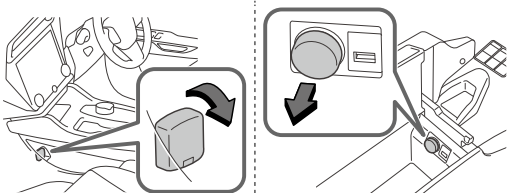


【参考図】

※急速充電口の位置や仕様は車両により異なります

- 3 車両の「アクセサリソケット」へ「12V電源ケーブル」を接続する。

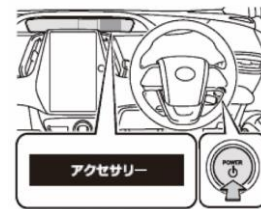
【参考図】



※アクセサリソケットの位置や名称等は車両により異なります。

- 4 車両をアクセサリモードにする。

【参考図】

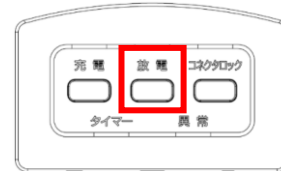


※アクセサリモードは、車両のパワーがOFFでヒーターなどが使えるモードです。切り替え方法、操作ボタン場所等は車両により異なります。(操作例：ブレーキを踏まずに「パワースイッチ」を1回押すなど)

- 5 自立運転を開始する。

【プラグホルダ（操作パネル）の場合】

- ・ プラグホルダの各LEDが点滅から消灯するまでお待ちください。
- ・ 消灯後、「放電」ボタンを押します。
- ・ 自立運転を開始すると、「放電」LEDが点灯します。



【室内リモコンの場合】

- ・ 「状態」画面でメニューアイコンをタッチします。
- ・ 「操作メニュー」で「放電開始」をタッチします。
- ・ 放電を開始すると、本体状態が「自立運転中」になります。



- 6 準備が完了し給電可能となる。
使用する電気設備の電源を入れてください。

- 7 アクセサリモード（車両電源）をOFFにする。
※アクセサリモードOFFの方法は車両により異なります。
(例：ブレーキを踏まずに「パワースイッチ」を2回押すなど)

- 8 12V電源ケーブルを車両、プラグホルダから外す。

II. 給電停止の手順（停電中に運転停止する場合）

【プラグホルダ（操作パネル）の場合】

- ・「放電」ボタンを押します。
- ・「放電」LED が点滅します。
- ・自立運転が停止すると、「放電」LED が消灯します。

【室内リモコンの場合】

- ・「状態」画面でメニューアイコンをタッチします。
- ・「操作メニュー」で「停止」をタッチします。

【スマホアプリの場合】

- ・「コネクタロック解除」をタッチすると運転が停止し、コネクタロックが解除されます。

※「放電停止充電率」または車両が定めた充電率に達したときは、放電を自動で停止します。

III. 自立運転中、過負荷によりV2Hが停止した場合の復旧手順

- ・V2H-充放電器の定格電力「6kVA未満（片相3kVA未満）」を超えて電力を使用した場合に、給電が停止し停電状態となります。この場合、負荷を定格電力以下とすることで自動的に自立運転が復旧します。
- ・ただし、停止から数分（2～3分程度が目安）経過すると自動での復帰は出来なくなります。その場合は下記手順にて復旧準備を実施してください。

1 給電停止前に使用していた電気機器等のスイッチをOFFにする。

2 車両の「急速充電口」から「充放電コネクタ」を取り外し、再度挿し込む。

3 1.給電開始の手順 ②～を再度行う。

4 **自立運転を再開**する。
※過負荷に注意し、電気製品のスイッチを入れてください。

IV. 停電終了（復電）時

- ・停電が復旧すると自立運転は動作を停止し、宅内に商用電源から電力供給されます。
- ・停電が復旧してから最大 5 分間は、【異常】以外の LED が点滅しV2H- 充放電器を操作することができません。
- ・LED 消灯後、V2H- 充放電器を操作できます。

車種別注意事項

※ RZ450e/RZ350eは、車両側設定『アクセサリモード機能』をONにしてください。
この機能がOFFのままではブレーキペダルを踏まずにパワースイッチを押してもアクセサリモードがONにならず自立起動できません。